

## ～ 尼崎市内企業魅力発信事業 ～

### 活動の様子



### 企画・活動概要

尼崎市役所から紹介いただくものづくり企業の技術力を生かし、マーケティングを学ぶ大学生が新商品やマーケティング活動の企画提案を行う事業である。新たに2022年10月より、教育・ITサービスを展開している株式会社エアグラウンド（南武庫之荘2-2-7）にご協力いただけることになり、清水ゼミ2年生の4チームが挑戦することとなった。最終報告会を行なう2023年4月までの約半年に及ぶ取り組みだが、今回の社会共創活動助成の申請はその後半期間にあたる2023年4月1日～27日の最終報告会までのものである。

### 経緯・背景・目的

当事業に清水ゼミは2015年から参画しており、毎年度異なる市内企業にご協力をいただいている。当事業に取り組むことには、尼崎市や当該企業においては高い技術力を有することや新事業に挑戦する姿勢があることなどを示して市内企業をアピールするという狙いがある。大学側においては、実際に当該企業に商品化や事業化を検討していただけるレベルの企画を提案するという、実学教育の機会を得て学生の学びの深化や成長につなげることができるというメリットがある。尼崎市役所や市内企業にも、この点をご理解いただきご協力をいただいている。

### 取り組む課題

「ROBOMATES のブランド・ステートメントを提案する」をテーマに設定した。同社が展開する学校向けIT教育事業のROBOMATESに関して、共感を持つ・賛同する企業・学校を増やすことでこの取り組みの全国での展開につなげてゆきたい、ということが同社の課題である。具体的には、ROBOMATESの活動内容を清水ゼミ生が把握し、ターゲットとなる組織や個人のニーズを分析したうえで「ブランド・ステートメント」を作成・提案することとなった。



### 本学(学生)の役割

清水ゼミの学生は4チームに分かれ、それぞれROBOMATESの取り組み内容を調べ、また同様の教育サービスの事例を分析したり、実際にROBOMATESに関与している学校や企業の関係者へのオンライン・インタビューなどを通じて理解を深め、それをふまえた「ブランド・ステートメント」の提案に取り組んだ。2023年4月27日に行なった最終報告会において、企画内容をまとめたプレゼンテーションを同社ならびに尼崎市役所の担当者へプレゼンテーションを行なうことが求められた。学生には、日ごろ学んでいるマーケティングや経営学の知識を実践して活かすことが期待されている。

### 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2023年4月27日に行われた最終報告会では、4チームのプレゼンテーションが行われ、同社や尼崎市役所の担当者からも多くの質問やコメントが発せられた。1月の中間報告会では同社代表・畠中裕介氏からの多くの指摘やリクエストが寄せられたが、そこから完成度を上げてこの日に臨んだことに対する評価をいただくことができた。中間報告会を経て多くの気づきを得た学生たちは、プレゼンテーション自体の練度も上がっていることが感じられた。



### 指導教員および関係者の紹介

#### <指導教員>

商学部  
マーケティング学科  
教授  
清水信年(シミスプロシ)

<専門・担当科目等>  
マーケティング論

#### <関係者・企業等>

尼崎市経済環境局経済部しごと支援課、  
株式会社エアグラウンド